

アクティブラーニング型セミナー

イノベーターな社会 デンマークを知る (全7回)

2022年5月～2023年1月の第1土曜日14:00～17:00

5月7日、6月4日、7月2日、8月6日、10月8日、12月3日、1月7日(全7回)

オンライン開催 ※第4回、第7回はハイブリッド型(対面・オンライン)開催

福祉・環境・ICT社会など重要な政策領域においてデンマークは世界をリードしている。人々がイノベーターに働き、心地よい(ヒュッゲ)生活を送っている。1980年代の「福祉国家の危機」の時代を経験して、グローバル時代にイノベーターな福祉国家に変容できたのはなぜであろうか?これをデンマーク滞在・留学の経験がある識者を講師として、語り合い、認識を深める。



【セミナーの進め方】

アクティブラーニングの方法を採用する。参加者は指定された文献・論文を予め読み、関連事項を調べて、自分が考えたことを発表し、ディスカッションを行う。

第1回 (5月7日)	イントロダクション	菅沼隆 (社会福祉研究所所長、立教大学経済学部教授)
第2回 (6月4日)	デンマークの環境と教育	佐野利男 (元駐デンマーク日本大使)
第3回 (7月2日)	デンマークの福祉国家財政	倉地真太郎 (明治大学専任講師)
第4回 (8月6日)	デンマークのフレキシキュリティ	菅沼隆 (社会福祉研究所所長、立教大学経済学部教授)
第5回 (10月8日)	デンマークの経営	尾崎俊哉 (立教大学経営学部教授)
第6回 (12月3日)	デンマークの社会統合	加藤壮一郎 (神奈川県政策研究センター研究員)
第7回 (1月7日)	まとめ	菅沼隆 (社会福祉研究所所長、立教大学経済学部教授)

対象 学生、教職員、一般 (社会福祉専門職、民間支援団体関係者、研究者など)

受講料 一般:10,000円、学生:5,000円
※全7回の参加を前提とし、申し込み後の返金は認めません。

使用するテキストは参加者が各自購入していただきます。第2回のテキストは佐野利男著『女神フライアが愛した国』(2017年、東海大学出版部、2800円+税)を使用します。

申込方法 右記QRコードよりお申込みください。

4月15日(金)17時締切

※定員最大20名。ただし7名に満たない場合は中止とします。

👉 申込フォーム 👈



問い合わせ：立教大学社会福祉研究所

r-fukushi@rikkyo.ac.jp, 03-3985-2663

*申込はQRコードかURL (<https://forms.gle/whze6vnV3h2mUd8x8>) から受け付けております。

講師紹介

菅沼 隆(すがぬま・たかし)

立教大学社会福祉研究所所長、立教大学経済学部教授。2018～2020年北ヨーロッパ学会会長。2003年・2011年デンマーク国立ロスキレ大学客員研究員。研究テーマは社会政策・社会保障。福祉国家の持続可能性を探るため、北欧福祉国家の社会政策を中心に、経済構造、労使関係、経済政策、イノベーション政策を研究している。単著論文に「デンマークの社会保障—普遍主義とフレキシキュリティ」『新・世界の社会福祉 第3巻 北欧』（2019年、旬報社）などがある。

佐野 利男(さの・としお)

日本デンマーク協会会長、元駐デンマーク日本大使。原子力委員会委員を務める。東京大学法学部卒業、米国スワスモア大学留学。77年外務省入省以降主にエネルギー、経済協力、軍縮などの機能局を歩み、フランス、インドネシア、アメリカ（ニューヨーク）、スイス（ジュネーブ）、サウジアラビア、デンマークに赴任。大臣官房総括審議官、軍縮不拡散・科学部長、駐デンマーク特命全権大使、ジュネーブ軍縮会議日本政府代表部特命全権大使を歴任し、2017年2月退官。著書に『女神フライアが愛した国』（2017年、東海大学出版部）、『核兵器禁止条約は日本を守れるか』（2022年、信山社）がある。

倉地 真太郎(くらち・しんたろう)

明治大学専任講師。2013年慶応義塾大学大学院経済学研究科博士課程修了。後藤・安田記念東京都市研究所研究員などを経て現職。研究テーマはデンマークを中心とした北欧財政。財政学のアプローチでデンマークの税制、環境政策、経済政策を研究している。単著論文に『コロナ下におけるレジリエンスの検討—デンマーク財政を事例に—』（2021年、北ヨーロッパ研究）、『デンマークにおける地方税、政府間協議制度、課税自主権に関する研究—分権的システムの再検討のために』（2019年、後藤・安田記念東京都市研究所）などがある。

尾崎 俊哉(おざき・としや)

立教大学経営学部教授。コペンハーゲンビジネススクール客員教授を歴任。研究テーマは国際経営、国際政治経済学。比較制度分析の手法で経営の国際比較を研究している。その応用として、ダイバーシティ・マネジメントの研究や、それを踏まえたNPO法人での支援活動も行っている。著書に『ダイバーシティ・マネジメント入門：経営戦略としての多様性』（2017年、ナカニシヤ出版）、単著論文「国際的な競争優位につながる「デンマーク型」の経営モデルは存在するのか」（2020年、北ヨーロッパ研究）などがある。

加藤 壮一郎(かとう・そういちろう)

神奈川県政策研究センター研究員。埼玉大学大学院経済科学研究科博士後期課程修了。博士（経済学）。デンマーク政府奨学金給費生として国立ロスキレ大学社会グローバルイノベーション学部客員研究員。熊本市都市政策研究所研究員などを経て現職。研究テーマは、雇用・福祉政策、コミュニティ政策。デンマークの移民統合政策、住宅政策、雇用政策を研究している。単著論文に「デンマークにおける積極的社会政策の変遷」『福祉国家の転換』（2020年、旬報社）などがある。